

第1会場 西校舎1F 西校舎ホール

開会式 9:30-9:40

辻 哲也 (第2回脳腫瘍支持療法研究学術集会 会長/
慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室)レクチャー 1 9:40-10:30
「当院における多職種院内連携と基幹病院域医療連携の実際」

座長：佐伯 覚 (産業医科大学医学部 リハビリテーション医学講座)

L1 当院における多職種院内連携と基幹病院域医療連携の実際西山 淳^{1,2,3)}

- ¹⁾ 東海大学医学部 外科学系 脳神経外科学領域
- ²⁾ 医療法人社団NALU えびな脳神経クリニック
- ³⁾ 医療法人社団杏月会 伊勢原駅前クリニック

シンポジウム 1 10:40-12:00
「脳腫瘍支持療法の取り組みから得られた成果と課題」座長：成田 善孝 (国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科)
荒川 芳輝 (京都大学大学院医学研究科 脳神経外科学)**SI-1 悪性脳腫瘍患者および家族の Advance Care Planning に関する知識、経験、選好：脳腫瘍支持療法研究会による全国調査結果から**近田 藍^{1,2,3)}、荒川 芳輝²⁾、成田 善孝³⁾

- ¹⁾ 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 先端基盤看護科学講座 看護倫理学分野
- ²⁾ 京都大学大学院医学研究科 脳神経外科学
- ³⁾ 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科

SI-2 脳腫瘍患者と家族の健康関連 QOL および精神的ストレスの実態と関連要因—脳腫瘍支持療法研究会による Web 調査結果から佐藤 伊織¹⁾、池田 真理²⁾、津村 明美³⁾、成田 善孝⁴⁾

- ¹⁾ 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 家族看護学分野 家族 QOL 評価学領域
- ²⁾ 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 家族看護学分野
- ³⁾ 認定 NPO 法人 横浜こどもホスピスプロジェクト
- ⁴⁾ 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科

SI-3 脳腫瘍患者および介護者からみた支持療法の取り組みと成果

野村 恵子

NPO 法人脳腫瘍ネットワーク (JBTA)

SI-4 佐賀大学における脳腫瘍支持療法の取り組み

阿部 竜也¹⁾、中原由紀子¹⁾、伊藤 寛¹⁾、並川 裕貴¹⁾、前田 美和²⁾、
荒巻久美子²⁾

¹⁾ 佐賀大学 脳神経外科

²⁾ 佐賀大学医学部附属病院 看護部

ランチブレイク

12:05-13:00

アフタヌーンセミナー

13:00-14:00

「薬剤師外来を通して考える脳腫瘍患者の ACP 支援」

座長：成田 善孝（国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科）

共催：小野薬品工業株式会社

AS 薬剤師外来を通して考える脳腫瘍患者の ACP 支援

土屋 雅美

慶應義塾大学 薬学部 医薬品情報学講座

シンポジウム 2

14:05-15:05

「脳腫瘍患者（家族）の抱える困難さとリハビリテーション医療へのニーズ」

座長：水野 勝広（東海大学医学部 専門診療学系 リハビリテーション科学）

池田 光代（杏林大学医学部附属病院 リハビリテーション室）

S2-1 脳腫瘍患者の社会参加に影響を与える要因

小島 一宏¹⁾、西田 大輔^{2,3)}、水野 勝広²⁾

¹⁾ 慶應義塾大学病院 リハビリテーション科

²⁾ 東海大学医学部 専門診療学系 リハビリテーション科学

³⁾ 国立精神・神経医療研究センター リハビリテーション科

S2-2 脳腫瘍患者が抱える日常生活上の困難さに影響を与える要因

田畑 阿美¹⁾、池田 光代²⁾、樋口 周人³⁾、水野 勝広⁴⁾

¹⁾ 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻

²⁾ 杏林大学病院 リハビリテーション室

³⁾ 産業医科大学病院 リハビリテーション部

⁴⁾ 東海大学医学部 リハビリテーション科学

S2-3 脳腫瘍患者及びその介護者におけるリハビリテーションニーズ

山崎 有¹⁾、舩津 康平²⁾、野崎 佳澄¹⁾、水野 勝広³⁾

¹⁾ 東海大学医学部附属病院 リハビリテーション技術科

²⁾ 産業医科大学若松病院 リハビリテーション部

³⁾ 東海大学医学部 専門診療学系 リハビリテーション科学

S2-4 脳腫瘍患者とその家族が必要とする情報をどう提供するか梅崎 成子¹⁾、泉山 久代²⁾、水野 勝広³⁾¹⁾ 東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部²⁾ 在宅療養支援ステーション 楓の風³⁾ 東海大学医学部 専門診療学系 リハビリテーション科学

スポンサードセミナー

15:10-16:10

座長：山田 深（杏林大学医学部 リハビリテーション医学教室）

共催：インターリハ株式会社

SS 脳腫瘍で生じやすい高次脳機能障害に対する評価とリハビリテーション・アプローチ

高倉 保幸

埼玉医科大学保健医療学部 理学療法学科

シンポジウム 3

16:15-17:15

「脳腫瘍支持療法を“支える”多職種連携」

座長：西山 淳（東海大学医学部 外科学系 脳神経外科学領域）

佐々木 光（東京歯科大学市川総合病院 脳神経外科）

S3-1 脳腫瘍患者・家族への多職種支援 ～脳腫瘍家族会をとおして～

堀川真由弥

国立国際医療研究センター病院 看護部

S3-2 脳腫瘍患者の生活を支える外来看護

山本由利子

慶應義塾大学病院 看護部

S3-3 基幹病院における地域多職種連携の実際増井真名美¹⁾、鳴澤 美恵¹⁾、阪野 有紀¹⁾、蓑島 香織¹⁾、西山 淳²⁾、高橋 雅道²⁾¹⁾ 東海大学医学部附属病院 看護部²⁾ 東海大学医学部 外科学系 脳神経外科領域**S3-4** 作業療法士は脳腫瘍とどう向き合うか櫻井 卓郎¹⁾、成田 善孝²⁾¹⁾ 国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室²⁾ 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科

閉会式・表彰式

17:15-17:30

辻 哲也（第2回脳腫瘍支持療法研究学術集会 会長／

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室）

第2会場 西校舎1F 519

レクチャー2

9:40-10:30

「長期予後を見据えた小児脳腫瘍患者のリハビリテーション」

座長：田尻 寿子（静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション科）

L2 長期予後を見据えた小児脳腫瘍患者のリハビリテーション

田畑 阿美

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻

一般口演1

11:00-12:05

座長：田村 亮太（慶應義塾大学医学部 脳神経外科）

01-1 AYA世代の悪性脳腫瘍患者2例を通じ感じたこと

勅使川原明彦¹⁾、田中 俊英²⁾、小林 可奈⁴⁾、奈良 祐美³⁾、関根 智美³⁾、
岡田ひとみ³⁾、浅田 美香³⁾、佐藤 奈津³⁾、長谷川 譲¹⁾、村山 雄一²⁾

¹⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科

²⁾ 東京慈恵会医科大学附属病院 脳神経外科

³⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部

⁴⁾ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 地域連携

01-2 脳腫瘍患者の就労支援に関する取り組み

～就労支援ガイドブックの活用・考察～

久住真有美¹⁾、山本由利子²⁾、佐々木 光⁴⁾、辻 哲也³⁾、
就労支援ワーキンググループ⁵⁾

¹⁾ 慶應義塾大学病院 医療連携推進部／がん相談支援センター

²⁾ 慶應義塾大学病院 看護部

³⁾ 慶應義塾大学病院 リハビリテーション科

⁴⁾ 東京歯科大学市川総合病院 脳神経外科

⁵⁾ 日本脳腫瘍学会脳腫瘍支持療法委員会

01-3 高次脳機能障害により復職困難であった悪性神経膠腫患者に対する作業療法の有効性

黒崎 空¹⁾、佐々木秀一¹⁾、柴原 一陽²⁾、軽部 敦子¹⁾、上田 綾子¹⁾、
田口 晴貴¹⁾、小原 由貴¹⁾、神保 武則¹⁾、福田 倫也¹⁾、隈部 俊宏²⁾

¹⁾ 北里大学病院 リハビリテーション部

²⁾ 北里大学医学部 脳神経外科学

01-4 緩和ケア病棟における悪性脳腫瘍症例に対する症状緩和の現状と医療従事者の意識調査に関する報告

奥田 武司¹⁾、前田 宗之²⁾、吉岡 宏真¹⁾、榎本 秀好²⁾、高橋 淳¹⁾

¹⁾ 近畿大学医学部 脳神経外科

²⁾ 医療法人榎本会 榎本病院

01-5 脳腫瘍専門病棟看護師による外来看護の有用性について

小林 舞¹⁾、永井 琴子¹⁾、中村 春陽¹⁾、石毛奈津子¹⁾、鈴木 恭子¹⁾、
稲村 直子¹⁾、成田 善孝²⁾

¹⁾ 国立がん研究センター中央病院 看護部

²⁾ 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科

01-6 在宅電場療法のスムーズな導入のための院内地域医療連携の取り組み

西山 淳^{1,2,3)}、管野 舞¹⁾、佐野 史弥¹⁾、野末 恭子¹⁾、高橋 雅道¹⁾

¹⁾ 東海大学医学部 外科学系 脳神経外科学領域

²⁾ 医療法人社団 NALU えびな脳神経クリニック

³⁾ 医療法人社団杏月会 伊勢原駅前クリニック

01-7 びまん性内在性橋グリオーマ (DIPG) における支持緩和医療の標準化

鈴木 智成¹⁾、新妻 秀剛²⁾、千葉謙太郎³⁾

¹⁾ 埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科

²⁾ 東北大学 小児科

³⁾ 東京女子医科大学 脳神経外科

一般口演 2

14:00-15:05

座長：近田 藍 (京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 先端基盤看護科学講座 看護倫理学分野)

02-1 脳腫瘍患者の家族・介護者の困りごと、ニーズに関する検討：**脳腫瘍支持療法研究会全国調査結果から**

櫻田 香¹⁾、野村 恵子²⁾、ガテリエ ローリン²⁾、副田 明夫³⁾、近田 藍⁴⁾、
池田 真理⁵⁾、永根 基雄⁶⁾、成田 善孝⁷⁾

¹⁾ 山形大学医学部 看護学科

²⁾ NPO 法人脳腫瘍ネットワーク

³⁾ 東海中央病院 脳神経外科・脳腫瘍ホスピス

⁴⁾ 京都大学 人間健康科学系専攻 先端基盤看護科学講座

⁵⁾ 東京大学 健康科学・看護学専攻 家族看護学分野

⁶⁾ 杏林大学医学部 脳神経外科

⁷⁾ 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科

02-2 悪性脳腫瘍患者におけるポリファーマシー適正化の試み**～抗てんかん薬を中心に～**

辻 若子¹⁾、川口奈保美¹⁾、可児 朋香²⁾、玉村 笑子²⁾、齊藤 裕樹³⁾、
高見 洗輝⁴⁾、大野 香⁴⁾、副田 明男⁵⁾

¹⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 薬剤部

²⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 看護部

³⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 医療連携課

⁴⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 リハビリテーション科

⁵⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 脳神経外科

02-3 当院での Tumor treating fields 治療患者の抱える問題点と支持療法の検討

藤岡 寛、尾辻 亮介、波多江龍亮、空閑 太亮、吉本 幸司

九州大学大学院医学研究院 脳神経外科

02-4 神経膠腫のサバイバーおよびケアギバーのためのサポートグループの立ち上げと今後の課題

佐藤由紀子¹⁾、齋藤 紀彦²⁾

¹⁾ 東邦大学 看護学部

²⁾ 東邦大学医療センター大橋病院

02-5 意思決定能力喪失・家族等意思決定支援者不在の悪性脳腫瘍患者への医療・ケア提供：臨床現場で医学的・倫理的・法的妥当性を担保するプロセスについて

足立 吉陽^{1,2)}、富田 陽介¹⁾、為佐 信雄¹⁾、伊達 勲¹⁾

¹⁾ 岡山ろうさい病院 脳神経外科

²⁾ グリオーマサポートセンター

02-6 悪性神経膠腫患者における術前の健康関連 QoL と予後との関係

久ヶ澤一葉^{1,3)}、高見 浩数¹⁾、柳澤 俊介²⁾、高柳 俊作¹⁾、田中 將太¹⁾、成田 善孝²⁾、齋藤 延人¹⁾

¹⁾ 東京大学医学部 脳神経外科

²⁾ 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科

³⁾ 杏林大学医学部 脳神経外科

02-7 高齢者でも使えるオンライン通信機器を用いた交流電場腫瘍治療システムの維持

貞廣 浩和、石原 秀行

山口大学医学部附属病院 脳神経外科

一般口演 3

16:00-17:05

座長：森 俊樹（済生会神奈川県病院 リハビリテーション科）

03-1 高齢膠芽腫患者の退院時歩行自立度と全生存期間との関連

村岡 法彦¹⁾、甲谷 滉康¹⁾、呂 隆徳¹⁾、木下 学²⁾、大田 哲生^{1,3)}

¹⁾ 旭川医科大学病院 リハビリテーション部

²⁾ 旭川医科大学 脳神経外科学講座

³⁾ 旭川医科大学病院 リハビリテーション科

03-2 膠芽腫患者の生存と機能改善におけるリハビリテーションの役割

夏目 恵介¹⁾、吉田 輝²⁾、榎間 春利³⁾、米澤 大⁴⁾、河村健太郎²⁾、秋廣慎太郎¹⁾、花谷 亮介⁴⁾、下堂蘭 恵²⁾

¹⁾ 鹿児島大学病院 リハビリテーション部

²⁾ 鹿児島大学病院 リハビリテーション科

³⁾ 鹿児島大学医学部 保健学科

⁴⁾ 鹿児島大学病院 脳神経外科

03-3 幼児期発症の脳腫瘍治療後に残存した慢性期上肢機能障害に対して、ニューロリハビリテーションを実施した14歳女児の1例

伊藤 惇亮、紙本 貴之、山田 祐歌、川上 途行、辻 哲也

慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室

03-4 グリオーマホスピス患者のリハビリテーションの実際

高見 洸輝、川合由紀子、大野 香、今尾 智恵、川口奈保美、辻 若子、
齋藤 裕樹、可児 朋香、玉村 笑子、副田 明男
東海中央病院

03-5 脳神経外科病棟の観察室におけるリハビリテーション介入時間の固定が看護師の満足度に与える影響-CS分析を用いた評価-

林 雄李¹⁾、草葉 隆一¹⁾、最所 雅¹⁾、岡澤 和哉¹⁾、御厨 咲江¹⁾、
藤野英次郎¹⁾、道源ゆかり²⁾、長崎万由子²⁾、鳥羽 好和²⁾
¹⁾九州大学病院 リハビリテーション部
²⁾九州大学病院 看護部

03-6 脳腫瘍を含めた脳疾患に対する GROS (Gotanda Rehabilitation Outcome Stage) を用いたリハビリテーション計画の立案と遂行

藤谷 駿介¹⁾、遠藤慎ノ介¹⁾、坂本 穂香¹⁾、川野 将広¹⁾、川上 智子²⁾、
松谷 雅生³⁾
¹⁾原宿リハビリテーション病院 医療技術部 リハビリテーション科
²⁾原宿リハビリテーション病院 看護部
³⁾原宿リハビリテーション病院 診療部 リハビリテーション科

03-7 GROS (Gotanda Rehabilitation Outcome Stage) を用いたリハビリテーション方法と成果に対する患者・家族の理解度調査

熊澤 美怜¹⁾、小崎 弘敦¹⁾、坂田理恵子¹⁾、奥村 涼子¹⁾、鈴木 孝宗²⁾、
松谷 雅生³⁾
¹⁾原宿リハビリテーション病院 看護部
²⁾原宿リハビリテーション病院 医療福祉総合相談室
³⁾原宿リハビリテーション病院 診療部 リハビリテーション科

ポスター会場 西校舎2F 527

ポスター発表 1

10:00-11:00

座長：大田 哲生（旭川医科大学病院 リハビリテーション科）

P1-1 脳腫瘍覚醒下手術における当院の工夫

山本 晃生¹⁾、田村 亮太¹⁾、小杉 健三¹⁾、北村 洋平¹⁾、植田 良¹⁾、
安藤 牧子²⁾、小島 一宏²⁾、八代 英之²⁾、石川 愛子³⁾、辻 哲也³⁾、
戸田 正博¹⁾

¹⁾ 慶應義塾大学医学部 脳神経外科

²⁾ 慶應義塾大学病院 リハビリテーション科

³⁾ 慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室

P1-2 覚醒下手術における上肢運動・感覚機能の定量的モニタリングの経験

八代 英之¹⁾、田村 亮太²⁾、安藤 牧子¹⁾、小島 一宏¹⁾、三輪 一馬¹⁾、
坪井 徳子¹⁾、戸田 賢人¹⁾、戸田 正博²⁾、辻 哲也³⁾

¹⁾ 慶應義塾大学病院 リハビリテーション科

²⁾ 慶應義塾大学医学部 脳神経外科学教室

³⁾ 慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室

P1-3 労働場面での誤りに対する助言により高次脳機能障害への awareness が促進された右前頭葉悪性神経膠腫の一例

松永 一真¹⁾、眞鍋 朋誉¹⁾、大浦 敦樹¹⁾、角谷 英樹¹⁾、藤岡 修司¹⁾、
森田 伸¹⁾、鈴木 健太²⁾、三宅 啓介²⁾

¹⁾ 香川大学医学部附属病院 医療技術部 リハビリテーション部門

²⁾ 香川大学医学部 脳神経外科学

P1-4 周囲との社会的つながりが高齢者の膠芽腫患者に及ぼす影響

藤田 昇平^{1,2)}、福田 仁²⁾、川西 裕²⁾、中城 登仁¹⁾、上羽 哲也²⁾

¹⁾ 土佐市民病院 脳神経外科

²⁾ 高知大学医学部附属病院 脳神経外科

P1-5 グリオーマホスピスにおける悪性脳腫瘍患者の社会的サポート

齊藤 裕樹、副田 明男、玉村 笑子、大澤 章乃、可児 朋香、辻 若子、
川口奈保美、大野 香、高見 洸輝
東海中央病院

P1-6 悪性脳腫瘍患者の終末期におけるベバシズマブの役割

副田 明男¹⁾、玉村 笑子²⁾、可児 朋香²⁾、木戸地希世美²⁾、辻 若子³⁾、
川口奈保美³⁾、齊藤 裕樹⁴⁾、大野 香⁵⁾、高見 洸輝⁵⁾

¹⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 脳神経外科

²⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 看護部

³⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 薬剤部

⁴⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 地域連携課

⁵⁾ 公立学校共済組合 東海中央病院 リハビリテーション科

P1-7 独身高齢男性膠芽腫患者への終末期サポート～院内コンサートを開催～

関口 彩花³⁾、勅使川原明彦¹⁾、東本 杏一⁵⁾、新川ゆかり³⁾、鈴木 由佳³⁾、
小林 可奈⁴⁾、田中 俊英²⁾、長谷川 譲¹⁾、村山 雄一²⁾

- 1) 東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科
- 2) 東京慈恵会医科大学附属病院 脳神経外科
- 3) 東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部
- 4) 東京慈恵会医科大学附属柏病院 地域連携
- 5) 亀田総合病院 脳神経外科

P1-8 膠芽腫に対する初期治療期間の体重変化率と退院時の精神状態や生活の質との関連

眞鍋 朋誉¹⁾、大浦 敦樹¹⁾、松永 一真¹⁾、井窪 文耶¹⁾、田仲 勝一¹⁾、
藤岡 修司¹⁾、森田 伸¹⁾、三宅 啓介²⁾

- 1) 香川大学医学部附属病院 医療技術部 リハビリテーション部門
- 2) 香川大学医学部 脳神経外科学

P1-9 初期治療期間の膠芽腫患者における認知機能低下と精神状態悪化の関連

大浦 敦樹¹⁾、眞鍋 朋誉¹⁾、松永 一真¹⁾、津川 亮介¹⁾、藤岡 修司¹⁾、
森田 伸¹⁾、三宅 啓介²⁾

- 1) 香川大学医学部附属病院 医療技術部 リハビリテーション部門
- 2) 香川大学医学部 脳神経外科学

P1-10 言語聴覚療法の介入時期および原発性脳腫瘍と転移性脳腫瘍における関わり方の検討

安藤 牧子¹⁾、田村 亮太²⁾、北村 洋平²⁾、和田 彩子³⁾、小島 一宏¹⁾、
大嶋 理³⁾、石川 愛子³⁾、辻 哲也³⁾

- 1) 慶應義塾大学病院 リハビリテーション科
- 2) 慶應義塾大学医学部 脳神経外科学教室
- 3) 慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室

ポスター発表 2

12:00-13:00

座長：副田 明男（公立学校共済組合 東海中央病院 脳神経外科）

P2-1 神経膠腫患者におけるビデオゲームを用いたリハビリテーション

坂本 勇斗¹⁾、田代 祥一^{2,3)}、竹林万由子¹⁾、齊藤 邦昭⁴⁾、小林 啓一⁴⁾、
永根 基雄⁴⁾、中富 浩文⁴⁾、山田 深²⁾

- 1) 杏林大学医学部附属病院 リハビリテーション室
- 2) 杏林大学医学部 リハビリテーション医学教室
- 3) 慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室
- 4) 杏林大学医学部 脳神経外科学教室

P2-2 脳腫瘍患者に対するリハビリテーションにおいて看護師が抱える学習ニーズ

徳永 瑠奈^{1,2)}、林 直子²⁾

- 1) 防衛医科大学校 医学教育部 看護学科
- 2) 聖路加国際大学大学院看護学研究科

P2-3 自発性低下に対する外的補助手段を病棟でのADLの自立に繋げた膠芽腫の一症例

佐々木優樹^{1,2,3)}、池田 光代¹⁾、團 裕菜¹⁾、佐々木重嘉³⁾、齊藤 邦昭³⁾、
小林 啓一³⁾、永根 基雄³⁾、山田 深²⁾

¹⁾ 杏林大学医学部附属病院 リハビリテーション室

²⁾ 杏林大学医学部 リハビリテーション医学教室

³⁾ 杏林大学医学部 脳神経外科学

P2-4 膠芽腫初発後25ヶ月においてQOLが良好であった1例から考える作業療法の効果

馬場 千夏¹⁾、山脇 理恵¹⁾、峰晴 陽平^{2,3)}、田中かなで¹⁾、堀川陽一郎¹⁾、
重松 謙太¹⁾、池口 良輔^{1,4)}、荒川 芳輝³⁾

¹⁾ 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部

²⁾ 京都大学大学院医学研究科 健康医療 AI 講座

³⁾ 京都大学大学院医学研究科 脳神経外科学

⁴⁾ 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション科

P2-5 グリオーマホスピス患者の多職種協働・連携、包括的評価に向けての取り組み

大野 香、高見 洸輝、川合由紀子、今尾 智恵、辻 若子、川口奈保美、
齊藤 祐樹、可見 朋香、玉村 笑子、副田 明男
東海中央病院

P2-6 緩和ケア病棟でリハビリテーションを継続して自宅退院した一例

岩瀬 優花¹⁾、田尻 寿子¹⁾、加藤るみ子¹⁾、鈴木 諒子¹⁾、八木 理沙¹⁾、
尾瀬 翔¹⁾、柴田 祐奈²⁾、伏屋 洋志²⁾

¹⁾ 静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション室

²⁾ 静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション科

P2-7 多職種連携により機能予後予測を学習支援に繋げた髄芽腫の一例

梶 兼太郎¹⁾、中村 竜也¹⁾、奈良 和樹¹⁾、大塚 友吉¹⁾、辻 哲也²⁾

¹⁾ 国立病院機構 東埼玉病院 リハビリテーション科

²⁾ 慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室

P2-8 リハビリテーションを必要としたクッシング病の1例

森 俊樹¹⁾、谷田部 拓²⁾

¹⁾ 済生会神奈川県病院 リハビリテーション科

²⁾ 済生会神奈川県病院 整形外科

P2-9 体幹トレーニングによってADLが改善した悪性リンパ腫による両麻痺患者の一症例

甲谷 滉康¹⁾、村岡 法彦¹⁾、呂 隆徳¹⁾、木下 学²⁾、及川 欧³⁾、
大田 哲生³⁾

¹⁾ 旭川医科大学病院 リハビリテーション部

²⁾ 旭川医科大学 脳神経外科学講座

³⁾ 旭川医科大学病院 リハビリテーション科

P2-10 終末期の限られた時間 デマンドに沿って微笑みがみられた一例

丸山 研太

医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院

ポスター発表 3

15:00-16:00

座長：櫻田 香（山形大学医学部 看護学科）

P3-1 AYA 世代の胚細胞腫瘍患者への看護を振り返る白田 彩海^{1,2)}、關川 千聡¹⁾、渡部 舞¹⁾、塩野ゆうあ¹⁾、中山 美言¹⁾、
猪股 晃博¹⁾、櫻田 香²⁾、設楽 祐美¹⁾、秋葉 香奈¹⁾¹⁾ 山形大学医学部附属病院 看護部²⁾ 山形大学医学部 看護学科 基礎看護講座**P3-2** AYA スクリーニングシートにより脳腫瘍患者の気がかりに寄り添った治療環境を速やかに調整した一例石毛奈津子¹⁾、鈴木 恭子¹⁾、稲村 直子¹⁾、大村 鷹希²⁾、成田 善孝²⁾¹⁾ 国立がん研究センター中央病院 看護部²⁾ 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科**P3-3** 院内学級開級設立 10 周年を迎え、「これまで」と「これから」の課題

藍原 康雄、千葉謙太郎、川俣 貴一

東京女子医科大学 脳神経外科

P3-4 脳脊髄腫瘍治療中の小児の家族に対する抗がん剤曝露対策の指導
—抗がん剤内服を自宅で継続する場合の指導に関する実践報告—

杉澤亜紀子

国立がん研究センター中央病院 看護部

P3-5 悪性脳腫瘍患者の終末期看護に対する看護師の現状と課題大澤 章乃、可児 朋香、木戸地希世美、玉村 笑子、辻 若子、川口奈保子、
斉藤 裕樹、大野 香、高見 洗輝、副田 明男

公立学校共済組合 東海中央病院

P3-6 A 大学病院における脳腫瘍患者・家族の生き方を支えるシームレスな多職種連携親川 さや¹⁾、安藤実可子¹⁾、西山 淳²⁾、高橋 雅道²⁾、西野 隆一¹⁾¹⁾ 東海大学医学部附属病院 看護部²⁾ 東海大学医学部 外科学系 脳神経外科学領域**P3-7** 転移性脳腫瘍末期患者の ACP に沿った治療方針の決定、一脳外科医として出来ること二本松綾乃¹⁾、高田 宏宗²⁾、岩城 隆二²⁾、藤本 京利³⁾¹⁾ 名張市立病院 脳神経外科²⁾ 市立東大阪医療センター 緩和ケア内科³⁾ 市立東大阪医療センター 脳神経外科**P3-8** 入院中の脳腫瘍患者へのアドバンス・ケア・プランニング推進の取り組み

松澤 志保、橋口 周子

神戸大学医学部附属病院 看護部

P3-9 悪性脳腫瘍患者に対するがん研有明病院での Advance care planning (ACP) の取り組み

平川菜穂美¹⁾、釣 江利²⁾、小田桐 萌²⁾、馬城はるか³⁾、森 祐佳⁴⁾、
式部さあ里⁴⁾、伊丹優貴子⁵⁾、下倉 美穂¹⁾、大村 朋子⁶⁾、米澤 元樹⁶⁾、
宮北 康二⁶⁾

¹⁾ がん研究会有明病院 看護部

²⁾ がん研究会有明病院 医療連携部

³⁾ がん研究会有明病院 リハビリテーション部

⁴⁾ がん研究会有明病院 薬剤部

⁵⁾ がん研究会有明病院 栄養管理部

⁶⁾ がん研究会有明病院 脳腫瘍外科

P3-10 急性期病棟での脳腫瘍患者への ACP サポートにむけたリーフレット開発と多職種連携

札幌 博貴¹⁾、佐藤 千鶴²⁾、林 知玻也²⁾、大海 聖子²⁾、初井 泰朋¹⁾、
川崎ゆかり¹⁾、阿南 光洋¹⁾、秦 暢宏¹⁾、井上 亮³⁾、藤木 稔¹⁾

¹⁾ 大分大学医学部 脳神経外科学講座

²⁾ 大分大学医学部附属病院 看護部

³⁾ 大分大学医学部 実践看護学講座